

放射線科学域 博士論文書式 (ver. 16.05.06)

1. 原稿の分量および形式は、下記のとおりとする。

- (1) ワードプロセッシングソフトウェアを用いて作成する。
- (2) 図表は本文中に挿入する。
- (3) 日本語論文の場合、A4 横書き、40 行/ページ、40 文字/行の 1,600 字/ページとし、図表、写真、引用文献を含み、200 ページ以内とする。
- (4) 英語論文の場合、A4、ダブルスペースとし、図表、写真、引用文献を含み、400 ページ以内とする。

2. 論文記述上の注意

- (1) 原則として国際単位系 (SI) 表記法、西暦を使用する。
- (2) 外国語での人名、用語等は、原語で記述する。
- (3) 略語を使用する場合は、最初の記述箇所では原語またはフルスペルを記述し、続いてカッコ内 に以降使用する略語を記述する。

3. 引用文献の記載方法

- (1) 引用箇所の右肩に、順に 1)、2) の引用番号を付し、引用文献のページに出典を記載する。
- (2) 雑誌の場合 著者名：題名、雑誌名、巻（号）：引用ページ、発行年の順に記載する。

(例)

井村恒郎：知覚抗争の現象について、精神経誌、60：1239-1247, 1989.

Baxter LR, Schwartz JM, Phelps ME, et al.: Reduction of prefrontal cortex metabolism common to three types of depression, Arch Gen Psychiatry, 46: 243-250, 1989.

- (3) 単行本の場合 著者名：題名、監修または編者、書名、版数、：引用ページ、発行社名、発行地、発行年の順 に記載する。

(例)

八木剛平、伊藤斉：躁鬱病。保崎秀夫編著、新精神医学：282-306, 文光堂、東京、1989.

Gardner MB: Oncogenes and acute leukemia. Stass SA (ed), The Acute Leukemia: 327-359, Marcel Dekker, New York, 1987.

- (4) 著者が 4 名以上の場合、3 名を連記し、○○○○他、または○○○○ et al. とする。

4. 論文の構成と体裁

次の順で印刷し、製本すること。本文から引用文献までのページ下中央にページ番号を記すこと。学位論文の体裁は、「放射線科学域（製本体裁）」に従うこと。ただし、申請時にはファイルを使用して綴じた状態も可とする。

- (1) 冊子表紙（「放射線科学域（製本体裁）」に指定された様式で作成すること）
- (2) 白紙 1 枚（空白ページ 2 ページ分）
- (3) 内部表紙（別紙様式 1 を使用し作成すること）
- (4) 白紙 1 枚（空白ページ 2 ページ分）
- (5) 要旨（別紙様式 3 で作成した要旨本文のみを転載すること）
- (6) 目次
- (7) 本文（第 1 章 序論から 最終章 結語の順で記述すること）
- (8) 引用文献（3. 引用文献の記載方法に従うこと）
- (9) 謝辞（必要な場合）

5. 論文提出 提出書類・部数

次の表に記載された書類を指定の部数提出すること。

表 提出書類・部数一覧

	書 類	様 式	部 数
1	学位申請書	紙媒体（様式 2）	正 1 部
2	履歴書	紙媒体（様式 6）	正 1 部、写 6 部
3	研究業績一覧	紙媒体（様式 5）	正 1 部、写 6 部
4	学術論文	3 編	各論文につき正 1 部、写 6 部
5*	共著論文の場合、許諾書	紙媒体（様式 4）	各論文につき正 1 部、写 6 部
6	論文	紙媒体	正 1 部、写 6 部
7	要旨	紙媒体（様式 3）	正 1 部、写 16 部
8	論文および要旨	「4. 論文の構成」に指定の順で、一つの PDF ファイルに結合した状態とすること。	CD または DVD1 枚（表面に学修番号、氏名、論 文題名を記入する。）
9	複製に関する許諾書	紙媒体（様式 7）	正 1 部
	その他（単位修得証明書）		（事務局で用意）

注)

- ・ 「3 学術論文（3 編）」については、筆頭著者 1 編以上を含む 3 編とする。主論文と関連があれば修士論文も学術論文 1 編とみなす。論文掲載決定の通知がある場合、掲載決定通知（または採択通知）の写しと投稿論文の写しを提出すること。
- ・ 論文審査終了後は、「放射線科学域（製本体裁）」指定に従った冊子体 3 部を指定の期日までに学務課へ提出すること。